

## 平成28年3月期 決算短信 (非連結)

平成28年5月23日

会社名 マイコロジーテクノ株式会社  
 コード番号 3145  
 代表者 代表取締役 津野 芳彰  
 問い合わせ先 代表取締役 津野 芳彰

上場取引所等 GR  
 本社所在都道府県 新潟県  
 TEL (025) 250-7335

### 1. 28年3月期の業績 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
28年3月期	42,427	(70.4)	△67,448	(-)	△66,218	(-)
27年3月期	60,299	(24.9)	△51,732	(-)	△54,342	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円	%	円	円	%	%	%
28年3月期	△69,931	(-)	△883.46	-	-	△95.4	△156.1
27年3月期	△55,794	(-)	△723.76	-	-	△81.1	△90.1

(注)①期中平均株式数 28年3月期 79,156株 27年3月期 77,090株

②会計処理の方法の変更 有・**(無)**

③売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比率です。

④潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円
28年3月期	68,498	1,456	2.1	17.83
27年3月期	70,346	1,402	2.0	17.73

(注) 期末発行済株式数 28年3月期 81,680株 27年3月期 79,107株

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	千円	千円	千円	千円
28年3月期	△51,728	22	64,376	17,003
27年3月期	△47,031	△1,078	66,998	4,333

### 2. 29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通期	66,744	△38,761	△38,761

(参考) 1株当たり予想当期純損失(通期) 474円 55銭

(参考) 予想期中平均株式数(通期) 81,680株

### 3. 配当状況

・現金配当	1株当たり配当金 (円)					配当金総額 (千円)	配当性向 (%)	純資産 配当率(%)
	第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	その他			
27年3月期	-	-	-	0	-	0	-	-
28年3月期	-	-	-	0	-	0	-	-
29年3月期 (予想)	-	-	-	0	-	0	-	-

#### 4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

##### (コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくように努めております。

##### (コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況)

当社の取締役会は、平成28年3月31日現在3名で構成し、会社法に定められた取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しております。

また、継続ディスクロージャーサポートについては、公認会計士の指導を受けながら、経営情報の迅速な開示を目的として、株主及び投資家に対して決算データ等の情報開示に努めております。

#### 5. 反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

##### (1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、市民生活の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会生活の発展を妨げる反社会的勢力に対しては毅然とした態度で組織的に対応しております。

##### (2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

総務部を対応部署とし、不当要求などの事案ごとに関係部門と協議し、対応する体制を整備しております。また、反社会的勢力に関する情報を集中し一元管理するとともに、反社会的勢力に該当するかの確認を行っております。

平成 28 年 5 月 23 日

## 第 13 期 決算速報

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

会社名(定款上の商号)	マイコロジーテクノ株式会社
英文名(英文商号)	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コード番号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電話番号	025-250-7335
連絡者	代表取締役 津野 芳彰

### I 当期の業績

#### (1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日		第 13 期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日	
		金額	百分比	金額	百分比
I 売上高		60,299	100.0	42,427	100.0
II 売上原価		43,948		39,205	
売上総利益		16,351	27.1	3,222	7.6
販売費及び一般管理費		68,084		70,670	
営業損失		51,732	△85.8	67,448	△159.0
III 営業外収益		1,112		5,385	
IV 営業外費用		3,721		4,154	
経常損失		54,342	△90.1	66,218	△156.1
V 特別損失		1,002	1.7	3,263	7.7
税引前当期純損失		55,344	△91.8	69,481	△163.8
法人税、住民税及び事業税		450		450	
法人税等調整額		-		-	
当期純損失		55,794	△92.5	69,931	△164.8

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	第 13 期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日
	期 中 平 均 株 式 数		77,090 株
1 株 当 たり 当 期 純 損 失		723 円 76 銭	883 円 46 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益		－円－銭	－円－銭

\*潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業部門	第 12 期 自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日		第 13 期 自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日	
	金額	構成比	金額	構成比
マイコロジー事業	10,000	16.6%	－	－
健康食品事業	50,299	83.4%	42,427	100.0%
合 計	60,299	100.0%	42,427	100.0%

\*原料の売上が無かった為マイコロジー事業はありません。

## (3)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第 12 期 平成 27 年 3 月 31 日現在		第 13 期 平成 28 年 3 月 31 日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
現金及び預金	4,333		17,003	
受取手形	-		7,803	
売掛金	33,977		21,295	
製品	5,618		2,798	
半製品	2,332		1,524	
原材料	1,813		381	
仕掛品	21,394		11,841	
前払費用	649		649	
未収入金	551		207	
その他	△3,185		2,151	
流動資産合計	67,484	95.9	65,659	95.9
固定資産				
有形固定資産				
工具器具備品	0		0	
有形固定資産合計	0		0	
投資その他の資産				
敷金	2,839		2,839	
長期前払費用	22		-	
投資その他の資産合計	2,861	4.1	2,839	4.1
固定資産合計	2,861	4.1	2,839	4.1
資産合計	70,346	100.0	68,498	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	期 別	第 12 期 平成 27 年 3 月 31 日現在		第 13 期 平成 28 年 3 月 31 日現在	
		金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)			%		%
流動負債					
買掛金		4,334		7,723	
短期借入金		61,000		55,390	
未払金		1,794		1,761	
前受金		-		-	
預り金		486		511	
未払法人税等		1,328		1,654	
流動負債合計		68,943	98.0	67,041	97.9
負債合計		68,943	98.0	67,041	97.9
(純資産の部)					
株主資本					
資本金		437,623	622.1	472,616	689.9
資本剰余金					
資本準備金		385,623		420,616	
資本剰余金合計		385,623	548.2	420,616	614.1
利益剰余金					
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金		△821,843		△891,775	
利益剰余金合計		△821,843	△1,168.3	△891,775	△1,301.9
株主資本合計		1,402		1,456	
純資産合計		1,402	2.0	1,456	2.1
負債・純資産合計		70,346	100.0	68,498	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 12 期	第 13 期
		平成 27 年 3 月 31 日現在	平成 28 年 3 月 31 日現在
発 行 済 株 式 数		79,107 株	81,680 株
1 株 当 たり 純 資 産		18 円 19 銭	17 円 83 銭

## (4)株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
平成 26 年 4 月 1 日残高	410,124	358,124	△766,049	2,198	2,198
事業年度中の変動額					
新株の発行	27,499	27,499	-	54,998	54,998
当期純損失	-	-	△55,794	△55,794	△55,794
事業年度中の変動額合計	27,499	27,499	△55,794	△796	△796
平成 27 年 3 月 31 日残高	437,623	385,623	△821,843	1,402	1,402

当事業年度（自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
平成 27 年 4 月 1 日残高	437,623	385,623	△821,843	1,402	1,402
事業年度中の変動額					
新株の発行	34,992	34,992	-	69,985	69,985
当期純損失	-	-	△69,931	△69,931	△69,931
事業年度中の変動額合計	34,992	34,992	△69,931	54	54
平成 28 年 3 月 31 日残高	472,616	420,616	△891,775	1,456	1,456

(5) 重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準及び評価法

総平均法に基づく原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております。）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……定率法

(2) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

……リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 株式交付費……支出時に全額費用として処理しております。

(2) 消費税等の会計処理……消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第13期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の業績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府および日本銀行の継続的な経済政策や金融政策により収益改善がみられる企業が増加しました。雇用環境も改善傾向にありますが、中国やアジア新興国の経済や原油価格の不安定さ等、予断を許さない状況が続いています。

平成27年10月17日に行われた「越後白雪茸研究会」以降、健康食品の取り扱い企業からの商品開発の引き合いが増えてきました。特にレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」のOEMの受注ならびに、成分を変化させた新企画の共同開発についての依頼がきています。50ml ドリンクの「アルビタ」が徐々に出荷数が増える中、このサイズの越後白雪茸製品の企画依頼もいただくようになってきました。

新企画の商品開発には、企画から製品出荷までに半年以上の時間を要し、売上を伸ばすのに即効性の効果はありませんでした。

しかし当期に新たに企画された各種酵素入りドリンクやソフトカプセル等、次年度以降の営業や商品開発に生かされるノウハウが蓄積されました。

越後白雪茸製品のOEM「バシックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

新潟薬科大学を中心に機能性の実験を行いながら、金沢大学と有効成分の物質を特定するために共同研究を行っています。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を講演会の開催、学会への参加等、広く行ってきました。

以上の結果、当期の売上高は42,427千円（前年比29.6%減）、営業損失67,448千円（前期 営業損失51,732千円）、経常損失66,218千円（前期 経常損失54,342千円）、当期純損失69,931千円（前期 当期純損失55,794千円）となりました。

## III 第13期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

期 別 科 目	第13期（実績） 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	第14期（予想） 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売 上 高	42,427	66,744
営業損失（△）	△67,448	△36,277
経常損失（△）	△66,218	△38,761
当期純損失（△）	△69,931	△38,761

#### IV 資金及び借入金の状況

##### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期別 科目	第12期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	第13期 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
現金及び預金の増減額	△1,335	12,670
現金及び預金の期首残高	5,668	4,333
現金及び預金の期末残高	4,333	17,003

(主な増減理由)

当事業年度の主な増減理由は以下のとおりです。

株式の発行による収入 69,985 千円、短期借入金の新規借入 62,000 千円、たな卸資産の減少 14,611 千円、貸倒引当金の減少 3,794 千円(以上現金及び預金の増加要因)、税引前当期純損失 69,481 千円、短期借入金の返済による支出 67,609 千円、売上債権の増加 4,878 千円、仕入債務の減少 3,389 千円(以上現金及び預金の減少要因)によります。

##### (2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期別 科目	第12期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	第13期 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
短期借入金の増減額	12,000	△5,610
短期借入金の期首残高	49,000	61,000
短期借入金の期末残高	61,000	55,390

(主な増減理由)

当事業年度の増加は、借入 62,000 千円、返済 67,609 千円によるものであります。

#### V その他

##### 第三者割当による新株式の発行

平成28年3月3日開催の当社取締役会において決議されました、平成28年3月25日を払込期日とする新株式(普通株式)の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| ① 発行新株式数  | 普通株式 2,573株        |
| ② 払込金額    | 1株につき普通株式 金27,200円 |
| ③ 払込期日    | 平成28年3月25日(金)      |
| ④ 資本増加日   | 平成28年3月25日(金)      |
| ⑤ 調達資金額   | 69,985,600円        |
| ⑥ 調達資金の用途 | 借入金の返済に充当しました。     |